

ちよこつと 豆知識 【野菜の保存方法】 にんじんは紙タオルに包みポリ袋に入れて冷蔵庫に立てて保存、青菜はざく切りにして密閉袋に入れて冷凍保存!

緊急時! 発災後 一週間分の献立例

*発災後一週間程度は、ライフライン(電気、ガス、水道)が停止する可能性があるため、水、熱源の確保を前提としています。
*発災当日は、冷蔵庫にあるものを中心とした献立とするのも良いでしょう。

1日目	朝食	昼食	夕食
	パン:食パン/チーズ、野菜ジュース、バナナ	ご飯:アルファ化米(白米)/みそ汁:カップ入りインスタントみそ汁/いわし味付け(缶)	五目ご飯:アルファ化米(五目ご飯)/やきとり:焼き鳥(缶)
	ご飯:レトルトご飯/豚汁:カップ入りインスタントみそ汁/まぐろ水煮:ツナ(缶)	きつねそば:即席カップ麺、乾燥わかめ/桃:フルーツ缶(桃)	ご飯:レトルトご飯、ふりかけ/大和煮:牛肉の大和煮(缶)/ポテトサラダ:ポテトサラダ(缶)
	ご飯:レトルトご飯、味付け海苔/みそ汁:カップ入りインスタントみそ汁、豆腐(充填)/いわしトマト煮:いわしトマト煮(缶)	親子丼:レトルトご飯、親子丼の素(レトルト)/わかめスープ:インスタントスープ(わかめ)	ご飯:レトルトご飯/ハンバーグ(コーン添え):ハンバーグ(レトルト)、ホールコーン(缶)/オニオンスープ:玉ねぎ
	シリアル:シリアル、ロングライフ牛乳/バイナップル:フルーツ缶(バイナップル)	ご飯:精米/みそ汁:カップ入りインスタントみそ汁/ソーセージソテー:ソーセージ(缶)、キャベツ、にんじん	カレーライス:精米、カレー(レトルト)/キャベツとオニオンのサラダ:キャベツ、玉ねぎ、にんじん
	おむすび:精米、梅干、昆布、焼き海苔/コンビーフソテー:コンビーフ(缶)、玉ねぎ、キャベツ	ピラフ:精米、玉ねぎ、にんじん、ツナ(缶)/ポタージュスープ:カップスープ	ご飯:精米/麻婆豆腐:豆腐(充填)、麻婆豆腐の素(レトルト)、長ねぎ/なめこおろし:大根、なめこ(缶)
	ご飯:精米/みそ汁:インスタントみそ汁/まぐろ水煮:ツナ(缶)/にんじんのきんぴら:にんじん	スパゲティミートソース:パスタ(乾麺)、ミートソース(レトルト)/海藻サラダ:海藻サラダミックス、玉ねぎ	ご飯:精米/さんま蒲焼(焼きねぎ添え):さんま蒲焼(缶)、長ねぎ/なます:大根、にんじん
	ご飯:精米/鮭オイル包み焼き:鮭水煮(缶)、ごぼう、干ししいたけ/オニオンスライス:玉ねぎ、かつお節	カレーうどん:うどん(乾麺)、カレー(レトルト)、にんじん、長ねぎ/みかん:フルーツ缶(みかん)	牛丼:精米、牛丼の素(レトルト)/はりはり漬け:切干大根

※写真はイメージです。

引用:農林水産省「緊急時に備えた家庭用食料品備蓄ガイド」(平成26年2月発行)

避難生活セット

避難生活を快適にするための道具

保管場所:物置や棚で、ポストンバッグやキャリーバッグに入れて保管

用途:自宅が被災して生活できず、避難所に行くことになった場合、避難生活で必要になるもの。

POINT

女性の場合や、乳幼児がいる場合など、状況に応じて必要なものを、普段から考えておく。

<例>

- 非常用トイレ、飲料水、食料(非常持出袋と合わせて3日分程度)
- 下着、着替え(非常持出袋と合わせて3日分程度)
- ラップ・食器・ガムテープ・ロープ
- トイレトーパー・タオル
- 簡易枕、エアマット、寝袋・帽子
- 除菌スプレー、ドライシャンプー
- 水タンク(キャリーもあると良い)



非常持出袋にプラスする!

自宅に大きな被害があり、避難所で生活する場合

一度自宅へ戻る

自宅に被害が少なく、自宅で生活する場合

自宅生活セット

インフラなしで生活するための道具

保管場所:物置、棚(日常備蓄の場合は、普段から使用する場所)

用途:自宅で生活する際、水、電気、ガスなどがしばらく使用できないときに必要になるもの。

POINT

量が多くなると消費期限も把握しにくいので、日常的に使いながら、管理を行う。

<例>

- 非常用トイレ、飲料水、食料(一週間分程度)
- カセットコンロ・ガスボンベ

長持ちする食材を使った一週間の献立を紹介!



ベストを非常持出袋に!

家族1人1枚ベストを用意して、持出袋の中身を入れておくと、災害時に避難しやすくなります。普段使う椅子の背等にかけておけば安心!

交通安全

夕暮れ時は特に事故に注意!

秋を迎え、ますます暗くなる時間が早くなっていきます。夕暮れ時は自動車も自転車も歩行者も、お互いが見えにくくなる時間。しっかりと交通ルールを守り、交通事故を防ぎましょう。

歩行時の注意

横断歩道以外の場所での横断は大変危険です!

横断歩道以外の場所では横断すると、運転手が気づくのが遅れ、重大な事故となる場合があります。左右を見て車がしばらく来ない、もしくは車が遠くに見えるだけで車道を横断する行為や、近道をするために斜めに横断する行為も、非常に危険です。

☆反射材を着用しましょう!

ドライバーから見えやすいように明るく自立つ色の服装で、反射材を身につけて、自分の身を守りましょう!



安心安全課で反射材配布中!
*お1人様お1つ限り

☆自転車運転時の注意

車道は左側通行をしましょう!

自転車は車道を通行するときは、自動車と同じ左側通行です。道路の中央から左側部分の左端に寄って通行してください。一時停止の場所では必ず止まりましょう!

自転車は車の仲間です。一時停止(止まれ)の標識があるところでは、必ず止まって、車や歩行者等が来ていないか確認してから通過しましょう。自転車も早めのライトオン!

自転車のライトは、前方を照らすだけではなく、自身の存在を示します。点滅ではなくしっかりと全灯しましょう。

夕暮れ時や夜間は速度感が鈍り速度超過になりがちです。昼間より速度を落とすとして慎重に運転しましょう。

早めのライトオンを心がけましょう!

夕暮れ時には交通事故が多く発生する傾向にありますので、早めにライトを点灯し、自分の車両の存在を周囲に知らせましょう。

☆「交通事故発生マップ」で、市内の交通事故が発生している場所がわかります!



警視庁 交通事故発生マップ 検索

粕江の安心安全を守る団体紹介コーナー 2

フードバンク粕江

平成28年4月に発生した熊本地震の際、フードバンク粕江を通して、粕江市から熊本へ支援物資を届けることができました。フードバンク粕江では、全国のフードバンクと普段から連絡を取っているのですか? はい、全国フードバンク推進協議会に加盟し、日頃から食品提供企業や生活困窮者支援活動の情報ノウハウを共有しています。熊本支援は所属団体を越えて多くのフードバンクが手をつなぎ、独自ルートでの支援活動を展開しました。フードバンク粕江からもお米など食品を5回、259kgの支援をしています。同協議会では、この度の九州北部豪雨災害にもフードバンク北九州を通じて支援に取り組みしています。通常のフードバンク活動以外にもこうした全国の被災地への食品提供などを実施しています。

フードバンク粕江は、普段はどのような活動をしているのですか? 食の緊急支援を希望する世帯へ生活困窮相談窓口こまYELLなどを通じて食品を提供しています。市民からの寄贈食品をボランティアさんの手で整理し、支援世帯の生活状況を相談員から聞いて、提供食品を用意しています。市民の寄贈が中心の地域密着型のフードバンクです。地域で繋がっている人や団体が多くあればSOSをどこかで拾っていき、そんな地域の支え合うネットワークを作ることを目指し連携を考えています。

☆お問い合わせ NPO法人フードバンク粕江倉庫連絡事務所 粕江市東和泉1-3-11若葉荘108号 電話/FAX 03-5497-0272 ホームページ http://fb-komaeg.org フェイスブック/フードバンク粕江で検索



安心安全活動を行っている団体を紹介します!

粕江を安心で安全なまちにするための活動を行っている団体を、次号以降の通信で紹介いたします。応募者は、以下の内容を記載して、次のメールアドレスにメールを送ってください。bousaikk01@city.komaeg.lg.jp *郵送も可。郵送の場合は、任意の様式に必要事項を記載し、写真を同封の上、4面のお楽しみコーナーに記載してある住所にご送付ください。<記載してほしい事項>メールの件名「安心安全活動紹介コーナー応募」/団体名/団体の活動内容/活動の中で安心安全に寄与している点/活動をしている写真(メールに添付)/代表者の氏名、連絡が取れるメールアドレス